

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 真砂第1教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの意見を尊重しあえる職場環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子や行動について、気づいた点や疑問点をその場で共有することを心がけています。</li> <li>・ミーティング等では職種や経験年数に関わらず意見を出せるよう発言の機会を確保しています。</li> <li>・意見が異なる場合でも否定せず、相手の考えや背景を尊重することをルールとしたミーティングを実践しています。</li> <li>・支援内容について複数の視点から検討し、より良い支援につなげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、年次や経験に関わらず各職員が意見を述べるができる体制を整備していきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援に関する検討や意見交換を活発に行うことができている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援後に必ずミーティングを行い、児童の様子や支援の振り返りなどを積極的に共有しています。</li> <li>・個別支援計画に基づき、支援の目的や方法について職員間で確認し合う機会を設け、共通理解を図っています。</li> <li>・成功事例だけでなく課題となったケースやヒヤリハットの共有も重視し、改善策を検討する姿勢を大切にしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者を中心に常に支援方針の整理を行い、検討結果を支援の実践につなげてまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の目的やねらいを意識したプログラムを作成している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様一人ひとりの発達段階や特性を踏まえ、活動の目的やねらいを明確にしたプログラム作成を心がけています。</li> <li>・活動実施前に職員間で目的や支援の視点を確認しています。</li> <li>・楽しみながら社会性・運動機能・想像力の向上につながる活動内容を目指しています。</li> <li>・活動後には振り返りを行い、目的に沿った支援ができていたかを確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の研修を活用し、職員のスキルアップを継続して行ってまいります。</li> </ul>

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境設定や整備に改善の余地がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援やクールダウンが必要な際に、環境面で十分に対応しきれないことがあります。</li> <li>・備品の保管方法の見直しにより支援に活用できるスペースを生むなどの改善の余地があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別対応が必要な場面を想定し、簡易的に使用できる落ち着けるスペースを確保する方法を検討していきます。</li> <li>・環境設定に関する事例や他事業所の取り組みを参考にし、職員間で改善案を共有・検討します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を実施しているが様々な非常時パターンを想定して行きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練自体の安全を優先し、短時間で終える場合があります。</li> <li>・訓練中の役割分担や訓練目的などを振り返る機会が持てないことがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の災害を想定し、児童の特性や状況の変化に応じた避難方法の検討を行います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園、学校との連携が不足している</li> <li>・学校や相談支援事業所からの助言を支援に活かしてきていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園や学校との訪問連携の機会が少ない現状です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園・学校・相談支援事業所との連絡方法や情報共有の流れを整理し、連携体制を見直します。</li> <li>・外部機関との連携があった際は職員間で共有し、支援方法への反映を検討する時間を設けます。</li> </ul>